

和みの学び舎

奥沢中だより 壱

教育目標

学びの人 思いの人 育みの人



令和7年 11月 14日

No.8

世田谷区立奥沢中学校
校長 高林 敏彦

実り豊かな・・・

※二次元コードからHPをご覧くださいませ

副校長 有馬 優起子

奥沢中学校では今日まで期末考査でした。そんな学習三昧の今日この頃、数年前に受けた質問を思い出しました。「何のために勉強をするのか。」という質問です。これに対して、何とか説得力のある答えはないものかといろいろ思案し、探したことがあります。その時に会った答えの一つを紹介したいと思います。

Q. なぜ勉強しなければならないのか？

A. 水が入ったコップを見せて・・・

「算数」を学べば、この中に200mlの水がある・・・というように数字で見ることができ、

「理科」を学べばこの水は水素と酸素からできていることが知れる。

「美術」を学べば、この水の反射を綺麗に描くことができるようになる。・・・（後略）

様々な分野を学習することで、多くのことに気づくことができ、多角的に物事をとらえることができ、考えを深めることができるようになるのだと私は解釈しました。ここでは「美術」までを引用しましたが、続きには「学校」で学ぶほとんどの「教科」による考えが披露されており、

「でももし、何も学ばなかったらこのコップの中にあるのは『ただの水』で終わる。

だから勉強するの。この世界をただ見ているだけの人生で終わらせないために・・・」

といった言葉で締めくくられていました。この世界での自分の人生、決して傍観者ではられません。たくさんのことを学んで生かして、奥沢中の生徒の皆さんの人生を豊かなものにして欲しいと願います。

さて、人生豊かにというキーワードで私が忘れられないことの 하나가芸術です。芸術と言えば、10月には学芸発表会がありました。今年も1年生の明るく初々しい歌声、2年生の成長した歌声、そして3年生の堂々と迫力のある歌声を聴くことができました。合唱の作り手として、演劇部で役者・スタッフとして、英語スピーチで思いを言葉にし、吹奏楽部は音とともに楽しみを届け、実行委員としてすべてのことに携わり・・・皆さんは出演者・スタッフとして大勢の観客の前で舞台に立ち、舞台を作り上げました。日頃とは異なる体験をすることで心が一層耕されたことと思います。また、上級生や下級生、同級生の出演する舞台を鑑賞することによって、観る側としても心が揺さぶられたり、そのことについて考えを深めたりすることで成長することができたと思います。私も一生懸命な姿に心が動かされるという、大切な機会をいただきました。この機会をくれた皆さんに感謝しています。

学校はそんな風に様々な分野を学習できる貴重な場所だと改めて感じています。

学芸発表会には多くの保護者・ご家族の方々がご来校くださり、アンケートにて温かいお言葉、今後に生かすべき貴重なご意見をいただきました。誠にありがとうございました。

11月のおもな予定

14 金 期末考査最終日
専門委員会
生徒協議会
数検

17 月 生徒会朝礼
到達度テスト（3年）

18 火 学び舎あいさつデー

20 水 45× 避難訓練

23 日 英語スピーキングテスト
（3年）

27 木 ⑤⑥カット

生徒総会

後期より3年生からのバトンを受け継ぎ、2年生が中心となって運営していくことになる生徒会です。10月29日には生徒総会が開かれ、生徒会役員はじめ各専門委員会委員長による後期活動方針等についての答弁が行われました。質問の多くは

1年生。質問をしてくれることで内容の理解が深まります。答弁

は生徒会、生活・図書・美化・保健給食・放送の各委員長である2年生、学級委員は各学年の代表が務めます。それぞれの専門分野に関する役割をしっかりと果たしていこうとする姿勢が見られ、頼もしく感じます。生徒総会の最後には前生徒会長はじめ、前期委員長からの挨拶がありました。奥沢中生徒会をリードしてくれた人たちです。



日本文化

「よりよい生き方を求めて～日本文化～」をテーマに2年生で「浴衣の着付け教室」が実施されました。お招きした講師の先生方が丁寧にお教えくださり、全員が色とりどりの浴衣に身

を包みました。来年の夏は自分で着付けられる人が増えると素敵ですね。世田谷区独自で実施している「日本語」の日頃の取組はじめ、今回の学びからも日本文化について深めてもらえると嬉しく思います。ゲストティーチャーの皆様ありがとうございました。



セーフティ教室

「情報の海の泳ぎ方」というタイトルで日本テレビ放送網株式会社の“記者”中村洋介様をお招きし、ご講演をいただきました。日本テレビのニュースでの“実際の原稿”を活用し、情報がどのように私たちに届くのか、実践を盛り込んでくださいました。「情報をどのように考えるか」・・・事実→推測・思考→自分が意見を持つ、という流れの中で「事実の確認」がとても大切であるということを学びました。今後の自分たちの生活に生かしてくれることと思います。



「税の標語」入選 おめでとうございます！

「税の標語」について玉川間税会が募集とのことをご案内しました。作成にあたって、税について学んだり、考えたりしてくれたことと思います。応募した中から2名の作品が入選しました。ここに紹介いたします。

- ・「みんなの税 大事に使って 明るい未来」
- ・「税金を 知って納めて 良い社会」